

2021
年度

WCRP日本委員会 平和大学講座

「宗教はコロナ後の共生社会をどう目指すか」

2022年

3月10日 木 14:00-17:00

会場▶オンライン (Zoom)

基調
発題

岩村 義雄 (いわむら・よしお)

神戸国際支縁機構理事長、牧師

9.11 テロ(2001年)以降、難民支縁、被災者に寄り添う「ボランティア道」や「田・山・湾の復活」を展開。東北ボランティア(128回)、球磨川災害を始め日本各地で炊き出し、海外ではネパール、シリア、北朝鮮など10カ国以上で孤児の施設に取り組んでいる。(社)神戸国際支縁機構理事長、「みんなで『死』を考える会」会長、エラスムス平和研究所所長、「阪神宗教者の会」代表世話人、「カヨ子基金」前代表、神戸新聞会館講師、神戸国際キリスト教会牧師。



ディスカッション
パネル

コーディネーター：竹村牧男 (東洋大学名誉教授)

パネリスト：金子 昭 (天理大学おやさと研究所教授)

御手洗隆明 (真宗大谷派教学研究員)

安 勝熙 (WCRP平和研究所研究員)

お問い合わせ

(公財)世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会

〒166-0012 東京都杉並区和田2-7-1 普門メディアセンター 3F

TEL: 03 3384 2337 FAX: 03 3383 7993 /E mail: rfpj-info@wcrp.or.jp

未来の地域社会の平和を目指して —あらゆる分断を乗り越える

趣旨

私たちは、だれもがみな地球市民であると同時に、それぞれ国や地域において生活を営んでいます。それゆえ、地域社会が平和であることは、それがそのまま世界全体の平和に直結するものであります。このことが21世紀という時代の特徴だと言って良いでしょう。しかし、私たちの間を分断し、共生社会づくりを妨げるものは、貧富の格差、社会の不平等、テロや紛争など数多くあります。最近では、新型コロナウイルスの感染拡大がこれらの問題をいっそう深刻なものにしています。コロナ禍は、トリアージという名の下に、“いのちの選別”をすら生み出すに至りました。

WCRP平和研究所は2021年度のテーマとして「未来の地域社会の平和を目指して—あらゆる分断を乗り越える」を掲げています。そこで今回の平和大学講座では、未来の地域社会、ひいては地球社会の中で、私たちが互いに助け合う共生社会を構築するために、宗教の課題は何であるか、また宗教者はどう行動していくことが求められるか、皆様と共に考えてまいりたいと思います。

参加
無料

※WCRP日本委員会ホームページからのご登録頂けます。

① URLまたはQRコードより、Zoomミーティング登録フォームへアクセス

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZUtdOysrTMpG9zrLxSN4rmDSy5m7PO56aA4>

② 氏名、メールアドレス、ご所属を入力し、「登録」ボタンを押す

③ 登録されたメールにZoomよりメールが届くので確認

④ 当日は③のメールにある「ここをクリックして参加」から入室

どなたもご参加頂けます。締切りは2022年3月7日（月）まで。

